

## エンジニアリング会社のAZAPA、Auto China 2020 (北京モーターショー) に超小型モビリティのコンセプトカー 「AZAPA-FDS Concept」を世界初公開

名古屋に本社のあるエンジニアリング会社、AZAPA 株式会社（愛知県名古屋市中区、代表取締役 近藤康弘、以下 AZAPA）は、9月26日（土）から10月5日（月）まで中国 北京で開催される Auto China 2020（北京モーターショー）に AZAPA が培ってきたソリューションによって企画・開発された超小型モビリティのコンセプトカー「AZAPA-FDS Concept（※1）」を世界初公開した。



AZAPA-FDS Concept は、2021 年度中の市販化を目指しており、市販前提の 2 人乗り超小型モビリティとしては世界初の燃料電池車となる。

日常における近距離移動での使用を想定して開発し、コンパクトな車両サイズで扱いやすく、1 回の水素充填で約 100km の走行が可能。

水素の充填は数秒で済むため、電気自動車のように充電時間を気にしたりバッテリーを交換する必要が無く、日常の近距離移動に気軽に利用できるのが特徴。誰もが移動の自

由を持ち続け、生き活きとした豊かな生活を支えるモビリティを提供したい、同時に消費エネルギーやスペース、騒音など社会への負荷が小さい次世代モビリティが広がることによって、より良い社会づくりに貢献したいという想いで企画された。

AZAPA では、超小型モビリティの燃料電池仕様の他にバッテリーEV 仕様も開発。普及に向けて協力企業と FDS コンソーシアムを設置し、超小型モビリティの利活用や開発/生産の課題解決に向けた研究を行う。

また水素社会への転換を推進するため、マイクログリッド（※2）の設置推進に向けた水素コンソーシアムも協力会社と設立する予定で、水素インフラの普及とその利活用を同時に進める考え。

（※1）FDS とは

**Flexible Decomposition Structure** と **Function Domain System**  
の2つの意味を併せ持つ

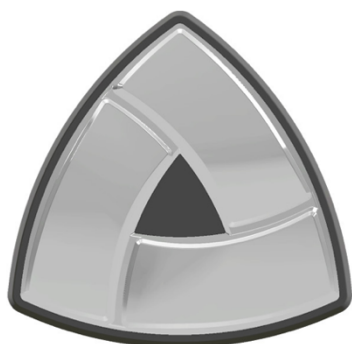
**Flexible Decomposition Structure** はアッパーボディ、アンダーボディ  
(P/F) をモジュール構造化したもの

**Function Domain System** は各機能ごとのシステムをモジュール化したもの

（※2）マイクログリッドとは

「マイクログリッド」とは大規模発電所の電力供給に頼らず、コミュニティでエネルギー供給源と消費施設を持ち地産地消を目指す、小規模なエネルギーネットワーク。

更に、今回の北京モーターショーにおいて新たなプロダクトマークを発表。



新たなプロダクトマーク



コーポレートマーク

このマークは、コーポレートマーク（C I マーク）とは別に設定されたもので、社名である AZAPA の A をモチーフに、AZAPA が重点取り組み領域としている「エネルギー領域」「モビリティ領域」「コミュニケーション領域」の3つを表現。今後、自社で開発した製品に対し使用していく。

「FDS concept」と新プロダクトマークをデザインしたのは、先に新設された AZAPA デザインセンターの根津孝太センター長。「FDS concept」には、その小さなボディに AZAPA の技術に裏打ちされた多くの革新的なアイデアが詰め込まれている。そのひとつひとつがこれからの社会を見据えたときに、どれも「次世代の当たり前」になって欲しいと思うものばかり。

「FDS concept」のデザインは、これらの技術を象徴的に体現し、使用時のみならず、製造時も鑑みて、これまでになかったフォーマットで構成。AZAPA は、この車両とともにこれからのモビリティ社会を変える挑戦を続けていくことをアピール。



お問い合わせ先

---

AZAPA 株式会社

TEL : 052-221-7350

担当部署 : 電子制御カンパニー（宍戸）

E-mail : [azp-sales@azapa.co.jp](mailto:azp-sales@azapa.co.jp)

URL : <https://azapa.co.jp>

FDS 特設サイト : <https://www.azapa.co.jp/topics/20200924/2353/>